

きら 煌めき金剛

ダイヤモンド

令和7年度 金剛小学校だより

令和7年7月18日

校長 今岡 康則



いろいろなことが
あったな~



一人一人が成長した1学期

今日で1学期が終わります。子供たちにとってどんな1学期だったでしょうか。

今年は、5月に運動会を行ったこともあり、4月の終わりから運動会に向けての練習や準備が始まり、入学したばかりの1年生にとっては大変なこともあったかもしれません。また、ほかの学年も、新しい先生や新しいクラスに慣れる途中で大変だったかもしれません。しかし、運動会に向けての取組を通して、クラスがまとまり、友達との仲も深まり、一人一人の成長が見られた期間だったように思います。特に高学年にとっては、学校の中心となって活動するとても大切な行事です。そのことを十分に理解し、高学年としての自覚が芽生えてきたように思います。

日頃の授業においても子供たちの成長が見られました。6月から7月上旬にかけて、全ての学級で1時間ずつ授業を参観しました。その中で、先生方の授業の進め方や子供たちの学び方を見ての気付きを担任と共有し、よりよい学びにつなげていくようにしました。子供たちにとってまず大切なことは、やつしろスピリッツにもある「聴き方」です。先生や友達の話を、“目と耳と心で聴く”ことが大切です。そして、自分でじっくり考え、友達と考えを共有し、自分の考えをより深めていきます。分からぬことがありますたら先生や友達に尋ね、分かったことや自分の考えは積極的にみんなに伝えます。それを、今はICTを活用しながら、より子供たちの理解が深まるような授業づくりを行っています。今年、金剛小は八代市教育委員会からICT教育推進モデル校の指定を受け、ICTを効果的に活用した授業づくりの研究を進めています。そのような中で、子供たちは先生や友達の話をしっかり聴き、ICTを活用しながら自分の考えをまとめたり、友達と考えを共有したりしています。

子供たちはまだまだ成長途中です。1学期に学んだことを夏休みの間にしっかり振り返り、2学期からの学習に備えてほしいと思います。2学期にもたくさんの学びの場があります。その中で更に成長できるよう子供たちと教職員、保護者、地域が一体となり「チーム金剛」でがんばっていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいいたします。



「心のきずなを深める月間」の取組から

6月は“心のきずなを深める月間”として、様々な取組を行ってきました。その一つが、友達のよさを見つける取組です。毎日の生活の中で、友達のキラリと輝るところや素敵なところを見つけて掲示するというものです。友達のよさを見つけ、友達同士のきずなを深めるきっかけとなりました。また、標語の作成にも取り組みました。

これからもみんなの心のきずなを深め、「居心地のよい、安心して過ごせる学校」にしていけるよう学校全体で充実した取組を進めていきます。



金剛小の最高学年として～弥次分校での交流会～

7月16日(水)、6年生が弥次分校へ行き、分校の1～3年生と交流会を行いました。6年生がそれぞれの学年に分かれ、自分たちで考えた遊びで楽しみました。日頃あまり関わりをもつことの少ない分校の子供たちと僅かな時間でしたが、金剛小の最高学年として、しっかり関わり、仲を深め楽しめていたようです。



2学期はもっと楽しい交流会になりそうです。

創立150周年記念式典に向けて

11月15日(土)、創立150周年記念式典が行われます。それに向け準備を進めています。その様子をインスタグラムで発信していますので、[kongou150](#)で検索してみてください。